



2024年8月9日

各位

会社名 株式会社オカムラ食品工業
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡村 恒一
(コード:2938、東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役兼 CFO 橋本 裕昭
(TEL. 03-3666-2333)

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年2月14日に公表いたしました2024年6月期(2023年7月1日~2024年6月30日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 業績予想と実績値との差異について

(1) 2024年6月期連結業績予想と実績値との差異(2023年7月1日~2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,941	百万円 2,261	百万円 2,087	百万円 1,419	円 銭 181.93
実績値(B)	32,665	2,548	2,932	1,968	252.16
増減額(B-A)	△1,275	286	844	548	—
増減率(%)	△3.8	12.7	40.5	38.7	—
(参考) 2023年6月期連結実績	28,939	3,187	3,544	2,389	354.82

(2) 2024年6月期個別業績予想と実績値との差異(2023年7月1日~2024年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 22,786	百万円 801	百万円 422	円 銭 54.18
実績値(B)	23,161	1,360	770	98.64
増減額(B-A)	375	559	347	—
増減率(%)	1.6	69.8	82.1	—
(参考) 2023年6月期個別実績	20,890	1,809	1,111	165.07

2. 差異の理由

営業利益につきましては、海外加工事業の利益が予想値を上回ったことを主要因として、業績予想値と実績値とに差異が生じました。海外加工事業は主にサーモン原料を仕入れて、加工のうえ販売する事業であります。サーモン相場の高止まりで原料仕入れも高値での仕入れとなるなか、その値上がり分の販売価格への転嫁は十分には進まないとの想定で業績予想値を算出しておりました。実際に仕入れの値上り分を完全には販売価格に反映はできず、実績利益率は対前年比で低下する結果となっております。しかしながら、業績予想での想定に較べれば販売価格への反映は進んだ面があることと、さらには一部原料については低価格での仕入れができ原価を押下げたことから、当事業の利益率は業績予想で想定したよりも高めで着地することとなっております。

また経常利益につきましては、上記要因に加え、期末にかけて円安が進んだことにより外貨建債権の換算差益が膨らんだこと、および補助金収入が発生したことにより、業績予想値と実績値で差異が生じております。

以 上